

し、断る為に罪のない嘘をつくのが原則である。

本研究では、日本人学生とニュージーランド人学生の「断り方」を比較した。データはアンケート調査によって収集し、補足的にインタビューを行った。アンケートの設問では、被験者が応諾するか断るか葛藤が起こるような「気の進まない状況」、例えば、面倒なことを依頼されたり、同意できないことを提案されたり、好みに合わないものを提供されたり、気の進まない招待を受けたりした時に、どのような言語行動を行うのかを調べる為の状況が設定されている。データは以下のコミュニケーション・ルールの観点から比較する。

1) 「理由」の使用頻度と内容、2) 曖昧表現「考えておきます」の使用頻度と発話者の意図、3) 「謝罪」の使用頻度、4) 「断り方」に現れる性差。

2. 日米比較文化から異文化理解への核心へ

浅間 正通 (静岡大学)

「異文化理解」というキャッチフレーズが「国際理解」という言葉と共に国際化のキーワードとなって久しいが、そのアプローチは依然、旧態然のままである。何故か？確かに教育の場にあっては英語教育現場を眺めてみる限り検定教科書には実に数多くの国々が登場し始めて、一つの変革を促したようにも思える。しかしながら、その実体とは単に諸外国の風俗・慣習・制度にあるような表面的異質性を披瀝するにとどまり、当該文化の底流に流れんとする感情を汲み取るまでには至っていない。ここに、一つの打ち破らねばならない壁が存在する点に着目したい。すなわち、表面的には世界文化を視野に入れた異文化理解の在り方が模索される中で、英米文化を柱とした先進国文化を志向しようとする風潮は相も変わらず拭い去られていないのである。その背景には、異文化を扱う場合の教材、異文化理解教育に携わる教授者の知識などが圧倒的に英米文化に偏ってしまっているという事実にも帰因するであろうが、異文化における表面的異質性とそこに暮らす人々の精神的異質性を安直に同一視しないがためにも、本発表では、この点を深く省みることによって異文化理解のあるべき姿を追求し、一つの提案を試みようとするものである。

会員による出版物

1. 大東俊一『九鬼周造と日本文化論』（粹出版社、2,060円）

『いきの構造』でいち早く西洋文化と日本文化の比較を試みた哲学者を現代的視点からとらえている。自分の母と岡倉天心の恋愛が周造少年の内面にどう浸透していったのかも興味を感じるが、コミュニケーションを教える英語教師にとって、周造の言語からアプローチする比較文化論は研究の出発点たりえるのではないだろうか。

2. 高山信雄『イギリス文化論序説』（こびあん書房、2,060円）

イギリスの文化の特質を民族的、歴史的、社会思想的視点で、経時的および共時的に概観して、その本質を考察した本格的な文化論。

3. 高山信雄『イギリスの生活と文化』（文芸広場社、2,000円）

イギリス人の生き方を随想風に述べながら、その生活と文化を概説したもので、現代英国事情に関する格好の入門書。著者の先年の留学の所産。

4. 横山芳夫『歴史小説としての『風とともに去りぬ』の舞台に行く』（近代文芸社、1,500円）

足繁く小説の舞台を訪れ、背景となっている歴史と地理を、豊富な地図と写真を織り込んで楽しく検証してみせてくれる。親しみやすく読みやすい。（この項、名和会長の寄稿）

事務局からの連絡等

1. 写真ご提出のお願い

当学会の会員数も200名を越しまして、例・大会の場合などでは、事務局にてお顔とお名前が一致せずに、失礼のある場合も出てまいりました。つきましては、大変お手数ですが、3センチ×4センチの顔写真を事務局までお送りください。また、これを機会に、会員の皆様の下記の情報をお寄せいただいで、会員相互間の親睦を深めたり、情報交換に役立てたいと存じますので、なるべく詳細にお書きいただければ幸いです。支障のない範囲で結構です。

1. 勤務先（学校名・学科等）
2. 役職名
3. ご専門の分野（「19世紀イギリス女流作家」のようになるべく具体的に）
4. E-mailのアドレス
5. FAX番号

事務局では、より円滑な学会運営のために会員の記録データベースを構築中でございます。何卒ご協力いただきたくお願いいたします。

送付先：〒101 千代田区神田駿河台1-8-13 日本大学歯学部 佐藤治夫 宛 3月末日までにお送りください。

2. 新入会員（ご氏名の隣の数字は郵便番号です）

**拓殖大学に言語教育研究科大学
院（修士課程）4月より開設**

英語教育学専攻と日本語教育学専攻の2つで、社会人にも学びやすいように社会人特別選抜、昼夜開講、集中講義、セメスター制などを導入している。小学校への英語の導入を目前にしたタイムリーな開設となる。名和会長は、英語授業論と英語教材論およびそれらの演習、計4コマを担当される。

お問い合わせ：拓殖大学入試課

〒112 文京区小日向3-4-14

Tel 03-3947-7159



英米文化学会創立
30周年記念事業
について

『英米文化学会の歩み』（仮称）出版に向けて、目下、編集担当者が精力的に活動しております。すでに原稿をお送りくださいました皆様には厚く御礼申し上げます。誌面にまだ余裕がございます。ご寄稿を歓迎いたします。

分科会報告

1. 新分科会のお知らせとお誘い

(1) 第八分科会（談話分析）

談話分析を研究する分科会の準備会が1月25日（土）に開かれました。鳥飼氏を中心に計8名が集い、当面は *Approaches to Discourse* を輪読会形式で読み進めてゆきます。2月22日（土）15:00-17:00、立教大学内太刀川記念館1F第二会議室にて開催しますので、興味を持たれた方は赤堀志子氏（Tel.0423-39-5713, E-mail:naori@tky.threewebnet.or.jp）まで詳細をお問い合わせ下さい。

(2) 第九分科会（異文化間コミュニケーション）

異文化間コミュニケーションを研究する分科会の準備会が1月26日（日）に開かれました。浅間氏を中心に5名が集まりました。興味のある方は、浅間正通氏（Tel & FAX 054-238-4271, E-mail: m-asama@ia.inf.shizuoka.ac.jp）まで詳細をお問い合わせ下さい。

2. 出版について

第一分科会（『たたかう性---英米文学作品におけるヒロインたち』一葉社）、第二分科会（『現代アメリカ小説』彩流社）の出版に関しては、出版事情（4月から消費税5%になる見込み）等により、4月上旬に刊行の予定です。
(分科会理事 五味田幸夫)

英米文化学会会報 第30号 編集・発行：英米文化学会編集委員会—池田 広子、小川 喜正、

岸山 陸、武井 朗子、中村 豪、宮崎 敬子、山根 正弘

発行責任者： 中村 豪 〒